

市報やまぐち

2012

2/1

February
No.152

WEB サイト <http://www.city.yamaguchi.lg.jp/>

携帯サイト <http://www.city.yamaguchi.lg.jp/keitai/index.html>

e-mail koho@city.yamaguchi.lg.jp

アートでつながる。YCAMがつなげる。
平成22年度決算報告

P.4

P.2

本州最西端のスキー場
「十種ヶ峰スキー場」

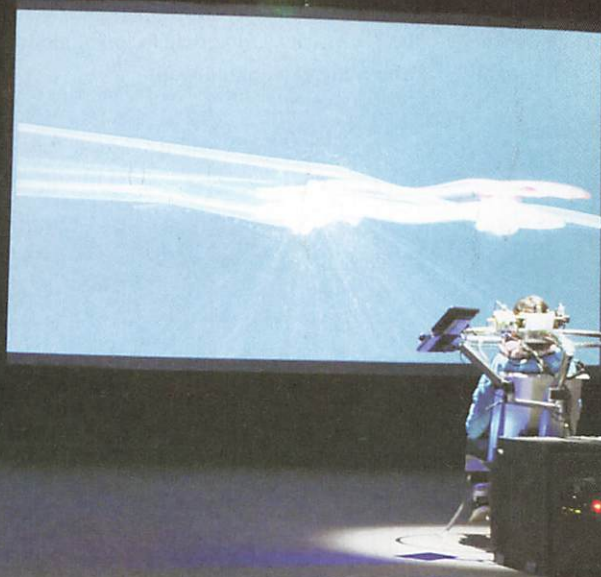


アートでつながる。YCAM がつなげる。

情報技術を使った新たな芸術表現に挑戦し続ける山口情報芸術センター (YCAM) ^{ワイカム}。

YCAM は、企画展や公演、ワークショップなどを行うだけでなく、アーティストとの作品制作・支援や、研究者と共同で情報技術に関するさまざまな研修開発にも取り組んでいます。今回は、今年度の研究活動を通じて生まれた新たな交流の様子をご紹介します。

■問い合わせ 市広報広聴課 (☎083-934-2753)



視線入力システムをつかった作品展「Eye-Tracking Informatics ～視線のモルフォロジー」の会場の様子。
専用のシートにすわり視線を動かすと画面に軌跡が表れる。視線の動きや速さに応じて座席が振動したり効果音が変わったりして、空間に引き込まれるような感覚を覚える。
(会期は3月25日まで。展示時間は11時から17時)

商用の視線認識システムは高額で機能も限定されますが、このプロジェクトで開発されたシステムはオープンソース(設計図やプログラム等を公開し無償で使用が可能)で、ある程度の知識があれば誰でも安価な材料で制作や改良ができます。



「The EyeWriter」を体験する来場者

現在、開催中の作品展(上の写真参照)もこのシステムが利用されています。

これらの作品展示とあわせて、会期中には、視線入力システムを使ったワークショップも開催しました。

このワークショップには県内外から研究者や学生など多くの参加があり、言語聴覚士などの福祉関係者も複数参加され、医療や介護現場でのコミュニケーション手段として活用できないかと関心をもたれている様子でした。

そこでYCAMでは、国内での普及に寄与するため、英語版しかなかったマニュアルを和訳し、このたびYCAMの公式ウェブサイトで公開しました。今後、このシステムがあらゆる領域で活用されるよう支援を行っていくことを考えています。



ワークショップの様子。子どもから大人まで多くの参加があった。



表現の可能性を広げる
— 視線入力システム「The EyeWriter」

「視線の動き」で絵を描く

YCAMが応用領域を広げる



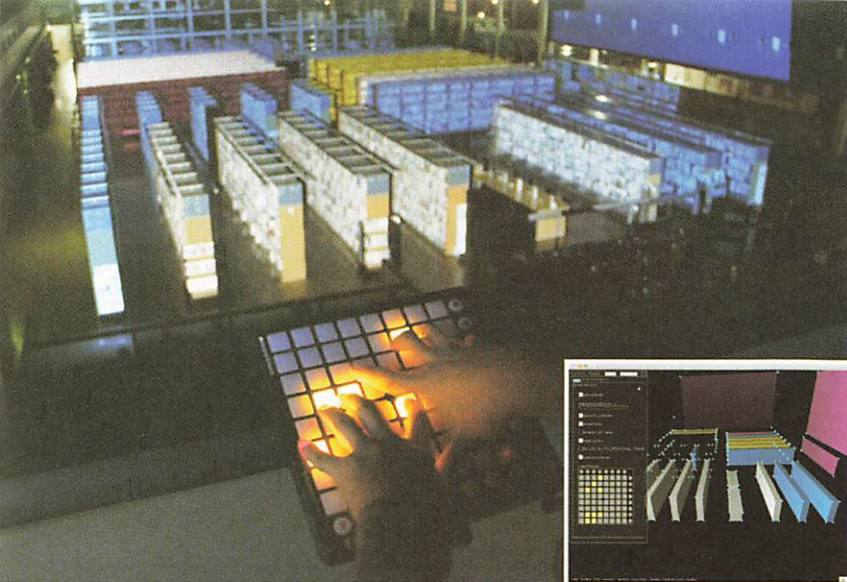
地域とつながる — 開発研究の成果を地域へ還元

最先端の技術を公開し、創造する

YCAMでは、国内外から先端的なテーマで研究開発を行い、その成果を国内外に公開する独自の事業にも取り組んでいます。

今年度は、国際的に活躍する技術者カイル・マクドナルドさん（アメリカ）を招き、8月から11月までの約3カ月、立体の形状に合わせて映像を補正し、投影できる「プロジェクタカメラ・ツールキット」の研究開発に取り組みました。

カイルさんは、国際的なオープンソースのソフトウェア開発でも活躍され、このシステムもオープンソースとなっています。そのため誰でも活用することができます。「技術を通じてネットワークが広がり、世界中の人が多様な発想で活用し、それがさらに次の新たなアイデアにつながっていきます。私はそこに意義を感じます。」とお話されました。



カイル・マクドナルドさん。手にするのは今回開発したシステムの操作盤。滞在期間中は市内近郊を散策し、山口の伝統工芸などにも多く触れた。

研究成果をいち早く地域で公開

今回開発したシステムは、カイルさんの滞在が契機になり、12月に、山口商工会議所が中心となつて取り組む「日本のクリスマスは山口から」のイベント会場で紹介しました。



会場では車に映像を投影

イベントの実行委員会では、このシステムに関心をもたれ、来年の事業への活用も検討されています。

教育関係者も注目

このシステムは教育関係者の関心も

高く、12月に県立大学からの依頼で、このシステムをはじめとするオープンソースのソフトウェア活用に関するワークショップを開催しました。学生にはインター

ネット上で公開された最先端技術活用の具体例などが説明されました。



県立大学でのワークショップの様子

優れた技術を、卒業制作やこれからの創作活動に応用して、自分のアイデアをより広げられることに、参加した学生も関心を高めていたようでした。

アートを通じて新たな技術や創造性を 社会や地域に生かしたい

YCAM 伊藤 隆之

■人が支える創造の現場



技術制作を担当。研究開発事業のチーフも務め、「The EyeWriter」の開発に関わる。

情報技術を使ったメディア芸術は、最新技術を応用し、関連する分野も横断的なことが多いです。そのため、YCAMではアーティストだけではなく、さまざまな技術者と共同で作品を作り上げます。その分、たくさんのアイデアやノウハウがあつまり、作品が完成するという面白さがあります。

■アートを通じて、多様な領域を交流させる

YCAMでは、最先端の技術を取り入れ、人と人とのつながりを築きながら国内外に発信できる作品を制作しています。来年の11月には開館10周年を迎えますが、これからも活動範囲をアートの領域にとどめることなく、科学や環境など、色々な領域とつなげて創造性を高め、社会や地域に貢献できる活動を続けていきたいと思っています。

YCAMが開館10周年に向けて始動 — 市広報番組のお知らせ

2月の市広報番組「発見! やまぐち・このまちに愛たい」(山口CATV12ch)は、開館10周年に向けて動き始めたYCAMの取り組みを放映しています。ぜひご覧ください。(月・水・金・日曜: 7時35分、21時50分、火・木・土曜: 12時5分)

市民1人当たりいくら？

平成22年度の決算が、昨年12月の平成23年第5回市議会定例会（10ページ参照）で認定されました。そこで、平成22年度の歳入歳出の実績について、市民1人当たりにつき換えてお知らせします。■問い合わせ 市財政課（☎083・934・2750）※市民1人当たりの換算額は、平成23年3月31日現在の人口19万5602人を基に算出

市民1人当たりに換算すると

37万5,942円

市が自ら調達できる収入
(自主財源)

16万587円

市税 **13万6,005円**

諸収入

預金利子や市が融資した貸付金の返済金など

1万315円

その他（分担金、負担金、使用料、手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金）

1万4,267円

国や県を経由する収入（依存財源） **21万5,355円**

地方交付税

市町村間の財源の均衡を図るため、国が交付するお金

8万3,095円

市債 市の借金

3万9,727円

国庫支出金 一定の事業について、国が負担するお金

4万7,935円

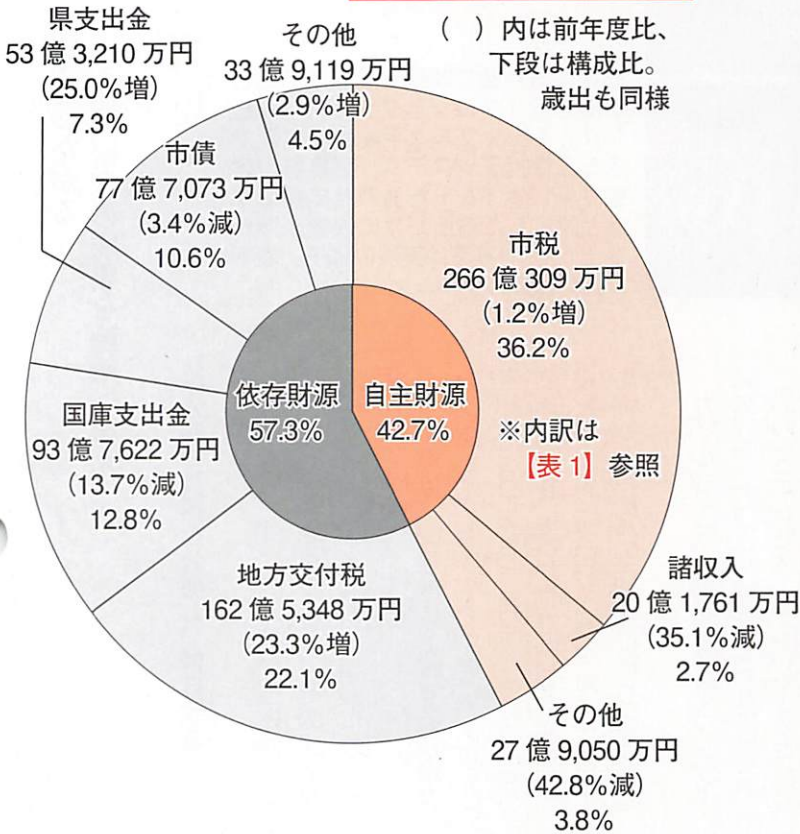
県支出金 一定の事業について、県が負担するお金

2万7,261円

その他（地方譲与税、交付金等） **1万7,337円**

一般会計歳入総額

735億3,492万円
前年度比0.5%減



【表1】市税の内訳

税 目	平成22年度 決算額	市民1人当たり 金額	構成比 (%)	前年度比 (%)
個人市民税	91億8,457万円	4万6,955円	34.5	△3.7
法人市民税	26億4,530万円	1万3,524円	10.0	14.4
固定資産税	113億7,674万円	5万8,163円	42.8	2.4
軽自動車税	3億9,936万円	2,042円	1.5	8.6
たばこ税	10億4,328万円	5,334円	3.9	6.3
鉱産税	4万円	0円	0.0	0.0
特別土地保有税	0万円	0円	0.0	0.0
入湯税	7,509万円	384円	0.3	2.5
都市計画税	18億7,871万円	9,605円	7.0	△0.7
合 計	266億309万円	13万5,594円	100.0	1.2

一般会計

一般会計とは、市税などを主な財源に、道路・公園の建設や福祉、医療、教育など、まちづくりに関する事業を行うための中心的な会計です。

【歳入0.5%減、歳出0.6%減、
実質黒字約7億円】

平成22年度の決算額は、対前年度伸び率が歳入0.5%の減、歳出0.6%の減となりました。

平成22年度当初予算額は714億円で、決算額は歳入が735億3492万円、歳出が722億2701万円となりました。歳入から歳出を差し引いた13億791万円から、平成23年度へ繰り越した5億7616万円を差し引いた7億3175万円が、実質的な黒字になりました。

歳入

【市税3億円増、市債3億円減】

市税は景気の持ち直しによる法人市民税の増や、固定資産税の増により前年度に比べ約3億円増の266億309万円になりました。

地方交付税は国の経済対策に伴う雇用対策・地域資源活用臨時特別費の創設等により約31億円増の162億5348万円に、国庫支出金は定額給付金事業補助金の減などにより約15億円の減となる93億7622万円になりました。

市民 1 人当りに使われるお金は

36 万 9,255 円

【内訳】



民生費

児童、高齢者、社会全体の福祉のために

10 万 7,283 円



総務費

市の運営や地域の振興のために

6 万 1,028 円



土木費

道路や公園の整備などのために

4 万 1,477 円



教育費

学校、社会教育のために

2 万 7,720 円



衛生費

生活環境の充実のために

2 万 7,045 円



農林水産業費

農林水産業の振興のために

1 万 4,102 円



公債費

市債の償還のために

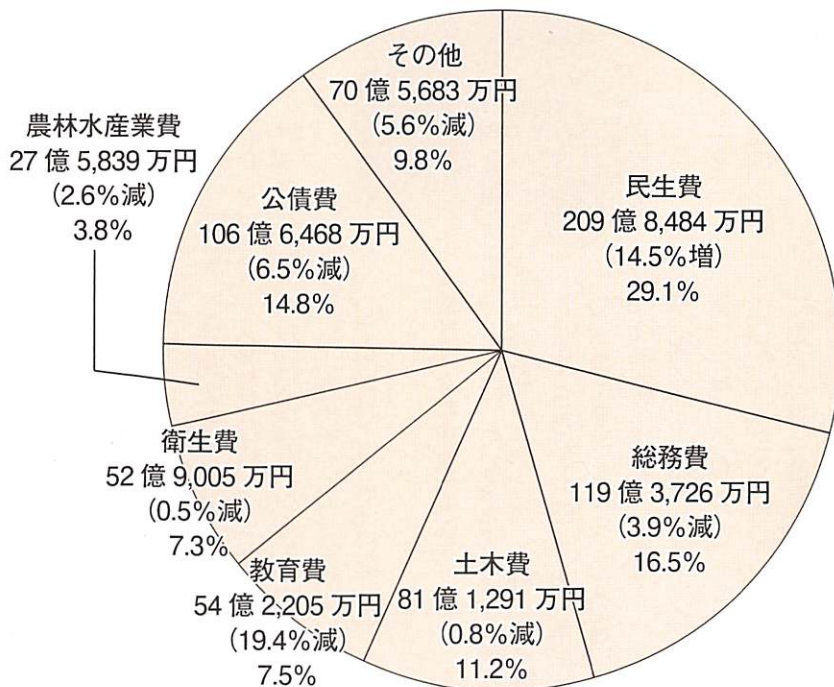
5 万 4,522 円

その他（議会費、災害復旧費、労働費など）

3 万 6,078 円

一般会計歳出総額

722 億 2,701 万円
前年度比 0.6% 減



【表 2】市債の状況

区 分	平成 22 年度末 現在高	市民 1 人当たり 現在高
一 般 会 計	873 億 6,032 万円	44 万 6,623 円
特 別 会 計	67 億 9,464 万円	3 万 4,737 円
合 計	941 億 5,496 万円	48 万 1,360 円
3 月末現在高 に対する利息	110 億 224 万円	5 万 6,248 円

※利息については、利率見直し等により変動します。

また、市債は普通建設事業費の減などにより約 3 億円減の 77 億 7,073 万円になりました。

歳出

【繰り上げ償還により
市債償還額は着実に減少】

総務費は、地域づくり交付金を創設しましたが、定額給付金事業が終了したことにより、前年度と比べ約 5 億円減の 119 億 3,727 万円になりました。

民生費は、子ども手当の支給などにより、前年度と比べ約 27 億円増の 209 億 8,484 万円になりました。

教育費は白石中学校校舎増改築事業などを実施しましたが、サッカー交流広場などの建設事業が終了したことにより、前年度と比べ約 3 億円減の 54 億 2,205 万円になりました。

このほか、公債費は市債の公的資金補償金免除繰上償還※の実施などにより償還額は着実に減少しており、決算額は前年度と比べ約 7 億円減の 106 億 6,468 万円になりました。

※今後支払う予定であった利子相当額（補償金）の支払いが免除される繰り上げ償還の制度を利用し、後年度の利子負担を大幅に軽減しています。

平成 22 年度市税の決算内訳は【表 1】の通りです。
平成 22 年度末の市債（借金）の状況は【表 2】の通りです。

こんな事業にお金を使いました

平成22年度の主な事業

① 支えあい健やかな暮らしの できるまち

・乳幼児医療助成事業（4億719万円）：所得制限撤廃の対象年齢を4歳未満まで拡大
・市立保育園管理運営、私立保育園運営（17億9199万円）：認可保育所の保育料を引き下げ改定し、子育て環境を充実

② いきいきと子どもが育ち、人がより よく生きる、文化をはぐくむまち

・山口開府650年記念事業（2616万円）：山口開府650年を記念し、大内文化の継承と発信のため各種行事を実施
・嘉村磯多生家活用事業（5755万円）：地域活性化に寄与する施設として「帰郷庵」を開館



・図書館管理運営業務（1億2671万円）：「日本一本を読むまち」の実現に向け、中央図書館の祝日開館を実施

市では、市総合計画に掲げる目指すまちの姿「ひと、まち、歴史と自然が輝く 交流と創造のまち 山口」の実現に向け、政策を8つに分け事業を推進しています。ここでは、平成22年度に実施した主な事業を、8つの政策に分けてお伝えします。

③ 安心・安全な暮らしのできるまち

・徳地出張所再整備事業（5816万円）：徳地地域での防府市への消防業務の委託を終了し、市直営の常備消防体制に移行するため、出張所を整備



④ 自然環境と調和した暮らしの できるまち

・住宅用太陽光発電導入支援事業（1605万円）：太陽光発電設備の普及を促進するため、市内の住宅への設備を設置する場合、市独自で設置費の一部を補助

⑤ 機能的な都市基盤が整い、 発展していくまち

・一の坂川周辺地区整備事業（3億1536万円）：中心市街地の活性化を図るため、一の坂川周辺の道路を美装化・整備
・新山口駅ターミナルパーク整備事業（2億199万円）：JRと新山口駅ターミナルパーク整備事業に関する基本合意および工事協定

を締結し、自由通路のエレベーター設置工事に着手

⑥ 市民生活を支え、 地域の活力を生む産業のまち

・湯田温泉復活300年記念事業（1400万円）：節目の年として各種記念事業を実施
・中心市街地活性化整備事業（7211万円）：「マルシエ中市（旧アルビ跡地）」事業の支援、中心市街地のカラー舗装補修経費の一部支援等を実施



⑦ ともに力をあわせてつくるまち

・地域の個性を活かす交付金事業（2億8266万円）：地域づくり交付金を創設し、「やまぐち式協働のまちづくり」の推進を強化

⑧ 市民の信頼に応える行政経営

・行政改革大綱推進事業（140万円）：行政改革大綱の着実な推進を図るため「行政改革大綱推進計画（改訂版）」を策定

特別会計

特別会計は、国民健康保険や介護保険など、特定の目的のため事業を行う場合に、保険料など特定の収入をその支出に充てるため、一般会計と区別して経理するものです。

平成22年度特別会計の歳入歳出決算は【表3】の通りです。

【表3】特別会計歳入歳出決算概要

区 分	歳入決算額	前年度比	歳出決算額	前年度比	1人当たり歳出金額
国民健康保険	178億595万円	8.2%	177億160万円	7.9%	9万498円
後期高齢者医療	22億9,084万円	4.1%	22億6,830万円	3.5%	1万1,597円
老人保健医療	1,672万円	△84.9%	1,672万円	△86.3%	85円
介護保険	134億7,129万円	7.4%	133億6,623万円	8.2%	6万8,334円
介護サービス事業	1億234万円	△4.2%	9,756万円	△1.1%	499円
土地取得事業	8,179万円	△0.8%	8,179万円	△0.8%	418円
駐車場事業	5,091万円	△4.6%	3,075万円	△25.8%	157円
小郡駅前第三土地区画整理事業	4億9,114万円	6.4%	4億9,114万円	6.4%	2,511円
簡易水道事業	2億7,441万円	38.9%	2億7,441万円	38.9%	1,403円
農業集落排水事業	9億5,652万円	△7.8%	9億5,652万円	△7.4%	4,890円
漁業集落排水事業	1,419万円	△13.1%	1,419万円	△13.1%	73円
地域下水道事業	474万円	△7.2%	474万円	△7.2%	24円
国民宿舎	3,017万円	1.3%	3,017万円	1.3%	154円
特別林野	1,081万円	17.4%	984万円	18.7%	50円
合 計	356億180万円	6.9%	353億4,394万円	6.9%	18万693円

市の財政ってどうなってるの？

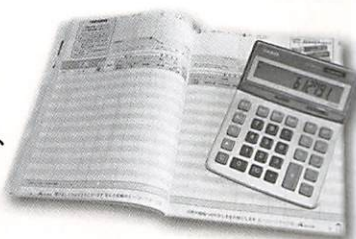
山口市の台所事情 ～家計の 1 カ月分に例えると～

平成 22 年度決算を分かりやすくするために、山口家（サラリーマンのお父さん、パート勤めのお母さん、2 人の子ども）の家計に置き換えて考えてみましょう。

1 カ月分の金額は、22 年度普通会計（※）の決算額の 1 万分の 1 を 12 で割って算出し、千円単位で四捨五入。（）内は 22 年度決算額

※普通会計とは、地方公共団体間の財政比較のため、地方財政統計上で統一的に用いられている会計区分です。

山口市の普通会計には、一般会計、土地取得事業特別会計、地域下水道事業特別会計、特別林野特別会計、小郡駅前第三土地区画整理事業特別会計（一部）が含まれます。



1 カ月の収入

給料	22 万 2,000 円 ① (市税 266 億 310 万円)
家賃収入	3 万 1,000 円 ② (使用料・手数料等 37 億 1,348 万円)
パート収入	3 万 2,000 円 ③ (地方譲与税、交付金等 38 億 7,516 万円)
親などからの協力・援助	29 万 3,000 円 ④ (地方交付税、臨時財政対策債、国・県支出金等 351 億 1,999 万円)
貯金の利子	1,000 円 (財産収入 1 億 3,715 万円)
自宅増改築等のための借入れ	3 万 4,000 円 (市債〈臨時財政対策債を除く〉40 億 7,240 万円)
貯金の取り崩し	0 円 (繰入金 2,309 万円)
合計	61 万 3,000 円 (合計 735 億 4,437 万円)

1 カ月の支出

食費・税金・社会保険料	11 万 7,000 円 ㉑ (人件費 139 億 8,680 万円)
医療費・養育費	10 万 1,000 円 ㉒ (扶助費 121 億 5,736 万円)
光熱水費・電話代等	7 万 1,000 円 ㉓ (物件費 84 億 6,256 万円)
子どもへの仕送り	5 万円 ㉔ (繰出金 60 億 3,107 万円)
町内会費、サークルや会合の会費	6 万円 ㉕ (補助費等および出資・貸付金 72 億 767 万円)
ローンの返済	9 万円 ㉖ (公債費 108 億 356 万円)
自宅・借家の増改築、家電購入等	9 万 9,000 円 (普通建設事業費、維持補修費等 118 億 7,667 万円)
貯金	1 万 4,000 円 (積立金 17 億 979 万円)
合計	60 万 2,000 円 (合計 722 億 3,548 万円)

家計に例えると

給料などでは家計が賅えず、親からの協力・援助を活用しています

支出を見ると、食費、医療費・養育費、光熱水費といった生活費が 28 万 9,000 円（㉑ + ㉒ + ㉓）、子どもへの仕送りが 5 万円（㉔）、町内会費やサークル等の会費が 6 万円（㉕）、ローンの返済が 9 万円（㉖）あり、これらを合わせて毎月必要な支出は 48 万 9,000 円になっています。

一方収入を見ると、給料や家賃収入を合わせて 25 万 3,000 円（① + ②）ありますが、これだけでは毎月の支出金額を賅うことができません。このため、毎月のパート収入 3 万 2,000 円（③）や親からの協力・援助 29 万 3,000 円（④）を活用してやりくりをし

ています。なお、毎月の残金と借入金等により、自宅や借家の増改築、家電購入等を行っています。

今後の見通し 合併による国からの援助終了への備えとして行財政改革を推進

現状では、財源不足を補うような基金の取り崩しはしていませんが、今後、合併による国からの財政支援措置が終了したあとの財政状況は、大幅な財源不足が生じる見通しとなっています。

市では、このような財政状況を踏まえ、平成 23 年 3 月に新たな「市財政運営健全化計画」を策定し、改めて歳入・歳出の両面から行財政改革に取り組み、持続可能な財政基盤の確立を図っていきます。

「山口市の台所事情」や「市財政運営健全化計画」など、詳しくは市ウェブサイトに掲載（「山口市 財政」で検索）



市清掃工場

山口市の「ごみ」をどうする？ 平成22年度の ごみ処理の現状

平成22年度の実績を基に、市のごみ処理の状況をお伝えします。

問い合わせ 市資源循環推進課（☎083・941・2173）



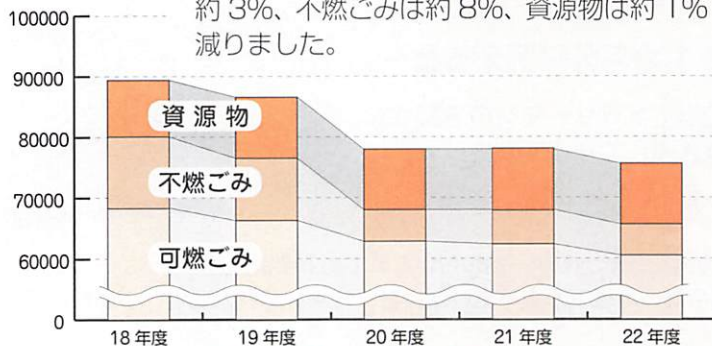
ごみの量と処理経費

平成22年度の一般家庭や事業所から出されたごみの量は、約7万6000tで、みなさんの分別・資源化へのご理解とご協力により、前年度

より約2000tの減となりました。また、ごみの収集や、焼却・中間処理・埋め立てに掛かった経費は、人件費や処理施設建設の減価償却費および起債償還利子を含め約29億7千万円でした。

【ごみ処理量】

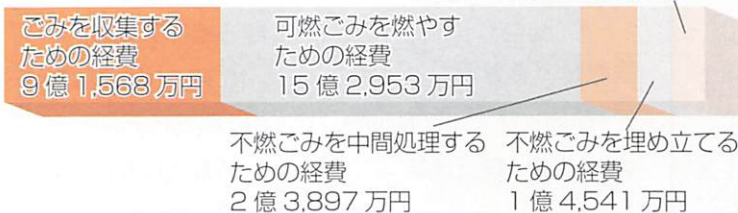
平成22年度は前年度に比べ、可燃ごみは約3%、不燃ごみは約8%、資源物は約1%減りました。



【ごみ処理経費】 合計 29 億 7,315 万円

※平成21年度は約30億5,000万円

資源物の選別・圧縮などを行うための経費
1億4,356万円



市民1人当たりで見ると…

() 内は平成21年度

ごみの量…1日当たり1,092g (1,128g)

ごみ処理費用…年間で約1万5,300円 (約1万5,500円)

●破碎鉄

不燃ごみの破碎・選別処理によって回収し、売却した鉄

回収量 234t 売払金額 709万円

●破碎アルミ

不燃ごみの破碎・選別処理によって回収し、売却したアルミ

回収量 42t 売払金額 389万円

●金属・小型家電製品

金属・小型家電製品として収集、または持ち込まれたものの売却

回収量 1,152t 売払金額 3,262万円

不燃ごみ・粗大ごみを中間処理し、資源として回収したものは左記の通りです。

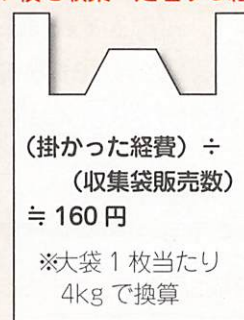


不燃物中間処理センター

現在、廃棄物減量等推進審議会の答申をもとに処理経費に応じた適正な手数料の見直しを行っています。

平成22年度

可燃ごみ指定収集袋(大)
1枚を収集・処理する経費



可燃ごみ指定収集袋

可燃ごみ指定収集袋代(手数料)は、ごみの収集・処理に掛かる経費の一部を負担いただいているものです。平成22年度実績では、大袋1枚分を収集・処理するのに160円掛かっています。



資源物の売り払い収入

市民の皆様が分別していただいた主な資源物の売却額の実績は左記の通りです。売却益は、市の財源として活用しています。

種類	ペットボトル	アルミ缶	スチール缶	新聞	雑がみ
種類					
売り払い金額 (売り払い量)	1,197万円 (383t)	2,763万円 (206t)	671万円 (220t)	1,747万円 (2,714t)	825万円 (1,947t)

今後とも、分別への取り組みにご理解とご協力をお願いします。

「省エネ」を考えましょう！

～2月は省エネルギー月間です～

省エネルギーセミナー～事業者向け～開催

「省エネ対策」には、限りあるエネルギーの有効利用や地球温暖化対策の推進という観点はもちろんのこと、コスト削減、社会的評価の向上などの具体的なメリットがあります。セミナーでは、省エネに関する最新動向や事例紹介を交えながら、省エネ対策に取り組むに当たってのポイントをご紹介します。(無料)

■日時 2月10日(金) 14時～16時

13時30分開場、受付開始

■場所 湯田地域交流センター 2階研修ホール

■演題 「省エネルギーの意義と省エネテーマ抽出の着眼点」

■講師 富田安夫氏(株式会社山武ビルシステムカンパニー所属、経済産業大臣賞平成21年度省エネ大賞〈人材部門〉受賞)

■対象 市内事業者(規模・業種は問いません)

■定員 50人(先着順)

■申し込み・問い合わせ 2月7日(火)までに電話・FAX・Eメールのいずれかで事業所名、参加者氏名、連絡先を明記の上、市環境保全課(☎083-941-2181 FAX 083-927-1530 ✉kankyo@city.yamaguchi.lg.jp)

※詳しくは市ウェブサイト(表紙参照)をご参照ください。

環境川柳コンテスト受賞作品決定

市報11月15日号で環境川柳を募集したところ、58作品のご応募をいただきました。審査の結果、受賞作品が決定しました。

■問い合わせ

温暖化とめるっちゃネットワークやまぐち(市環境保全課内 ☎083-941-2181)

受賞作品の紹介

最優秀賞(湯田 石原さん)

着ぶくれもエコと思えば胸をはり

優秀賞(大蔵 松本さん)

買う前も捨てる前にもひと工夫

優秀賞(仁保 末永さん)

エゴとエコ一字違えて住み良くし

特別賞(大殿のんのん太さん)

愛情を地球に注ぐエコライフ

特別賞(小郡 ナベゾウさん)

あらいやだ 分別ぐらいビン缶(敏感)に



イメージキャラクター「とめ麻呂くん」



クルマに頼りすぎない 交通まちづくりについて一緒に考えてみませんか？

クルマはとても便利で快適な移動手段ですが、過度な利用は交通渋滞の増加や二酸化炭素排出量の増大といったさまざまな問題の要因となります。

この機会にクルマと公共交通の上手な使い分けについて考えてみましょう。

■問い合わせ 市交通政策課(☎083-934-2729)

2/26

(日)

山口市公共交通ふれあいフェスタ

～公共交通で会場までの移動にチャレンジしてみよう！～

■時間 10時～15時

■場所 市中央公園(山口情報芸術センター前)

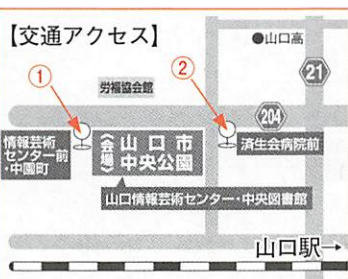
イベント内容

- ・ビンゴゲーム大会(14時から)
- ・交通事業者の出演
- ・バス・タクシー等の展示
- ・〇×クイズ
- ・お絵かきバス
- ・ミニSL乗車体験
- ・電気自動車お披露目など

飲食・物販コーナー

- ・駅弁、駅うどん、しつちよる鍋、地元産野菜など

※公共交通機関が走る風景写真展も開催(中央図書館)



- ① 防長バス、中国JRバス
- ② コミュニティバス(吉敷・湯田ルート)

※山口駅からは上記バスで来場可

3/2

(金)

市内一斉ノーマイカーデー

クルマでの移動から、公共交通や自転車といった環境にやさしい移動手段に転換するきっかけづくりとして「市内一斉ノーマイカーデー」を実施します。健康・環境・家計にやさしく、事故のリスクも軽減できる公共交通をこの機会にぜひご利用ください。

バス半額券、エコとくクーポン付き チラシをお届けします

市報2月15日号と同時配付します。公共交通の良い面を、実際に利用して感じてみませんか。

チラシには、サイクル・アンド・ライド(自転車と公共交通の組み合わせ)が可能な駐輪場も掲載しています。

ぜひご利用ください。



こちらのチラシです

市政トピックス

「平成23年第5回市議会定例会」を開催

12月5日～22日の間、「平成23年第5回市議会定例会」を開催しました。



定例会の様子

市長は、第66回国民体育大会「おいでませ！山口国体」および第11回全国障害者スポーツ大会「おいでませ！山口大会」、山口市総合計画まちづくり計画の中間見直し、新山口駅ターミナルパーク整備、企業立地について市政の概況を報告しました。

また、市長から平成23年度山口市

一般会計補正予算や山口市暴力団排除条例、山口市柔剣道場の指定管理者の指定について、教育委員会の委員の任命についてなど計38件の議案、委員会から「鳥獣被害防止対策の充実を求める意見書」の1議案が提出されました。審議の結果、山口市小郡屋内プールの指定管理者の指定については継続審査とされ、その他の議案についてはすべて可決・同意されました。

なお、このたびの議会では、第4回臨時会で提出された平成22年度一般・特別会計決算計15件も認定されました。

市議会事務局

(083・934・2854)

教育委員会委員長が選出されました

12月27日、市教育委員会臨時会で宮原久美子氏が教育委員会委員長に選出されました。任期は、平成24年12月26日までです。

教育委員会は、教育行政の安定性や中立性の確保を目的とした、教育行政の方針などの重要事項を決定する合議制の機関です。山口市教育委員会は7

人の委員で構成され、委員は市長が議会の同意を得て任命しています。



宮原委員長

市教育総務課

(083・934・2855)

嘉村礒多直筆原稿が帰郷

仁保出身の私小説作家、嘉村礒多を顕彰する「嘉村礒多顕彰会」が直筆原稿「彼に帰った彼女」を入手しました。これは、礒多全集に未収録の作品であり、活字化された作品の直筆原稿の発見は、今回が初となります。

この原稿は、東京の古書店から、12月7日に顕彰会が購入したもので、山口メセナ倶楽部からは「文化的価値が高く市民に還元できる」との判断で、全額助成を受けており、現在、県立大学附属郷土文学資料センターで保管し

ています。

嘉村文学研究家の多田美千代さんによると「これまでにないモダンな作風で、若い女性が主人公になるのは珍しいが、自分の実体験を重ね合わせた展開になっているところは礒多らしい」ということでした。

現在、複製は帰郷庵で常時閲覧でき、原本については、今後、市内の文化施設等での公開が検討されています。

市文化政策課

(083・934・2717)

新移動図書館開館式を開催

市教育委員会では、2台目となる移動図書館「ぶつくん」を新規導入し、12月24日、中央図書館で開館式を開催しました。2台体制での運行により、移動図書館の巡回区域が広がり、来年度より市内全域33カ所に巡回する予定です。



開館式の様子

開館にあたって、戸田岸教育委員長は「市全域に図書館サービスが行き届くことになった。市教育委員会が主体となって進めている『日本一本を読む

』の実現に向けて、さらなる図書館サービスの充実に努めたい」とあいさつしました。来賓を代表して、市図書館協議会の安光裕子会長は「以前から切望していた2台目の移動図書館が開館し、大変うれしい。図書館に行きたくても行くことができない方々へのサービスの充実に資することを期待します」とあいさつされました。

2台体制での本格運用は4月からを予定しています。

中央図書館

(083・901・1040)

休日当番医の変更 (2月 山口市医師会)

■変更内容 中村整形外科 12日→26日、おうちクリニック 26日→12日
 ■問い合わせ 市健康増進課 (☎ 083-921-2666)

テレビ番組にも出演中で、多方面で活躍中の澤口俊之氏(脳科学者)を講師に招いた講演会です。(無料)



澤口俊之氏

教育特別講演会

県では、土砂災害防止法に基づき、土砂災害のおそれがある区域について、今年3月から4月にかけて土砂災害警戒区域および土砂災害特別警戒区域を指定する予定です。この区域の案について閲覧することが出来ます。

■閲覧期間 2月2日(木) から
 ■閲覧場所 防府土木建築事務所山口支所(神田町6・10)、市道路河川建設課(山口総合支所)
 ■対象地域 大殿、白石、湯田、吉敷、大歳
 ■防府土木建築事務所(☎ 083-922・0856)、市道路河川建設課(☎ 083・934・2006)

土砂災害警戒区域等の指定について

■日時 3月3日(土) 13時~15時
 ■場所 市小郡ふれあいセンター(小郡下郷1440・1)
 ■演題 「脳をいかにはぐくむか?子どもや社会人が伸ばすべき脳力は何か?」※手話通訳および要約筆記有
 ■定員 500人(先着順)
 ■申込 小郡地域交流センター(☎ 083・973・0638)

より良い介護を目指し活動するやまぐち介護者(家族)の会が、ごなたでも参加可能な交流会を開催します。

また、介護で悩みをお持ちの方を対象とした、講師との質疑応答、スタッフとの個別相談もお受けします。お気軽にお越しください。(無料 申込不要)

■日時 2月14日(火) 13時~16時
 ■場所 県総合保健会館(吉敷下東三丁目1・1)

■内容 会員による体験発表、映画「明日の記憶」のモデルであり、著書もあるホームヘルパーの越智須美子氏を講師に迎えた記念講演ほか

第6回山口市内介護者の会交流会参加者募集

■日時 2月17日(金)
 ■時間 高校生:10時~12時/学生(高校生以外):一般:10時~12時30分(第一部)、13時30分~16時(第二部)
 ※第一部・第二部で企業を入れ替え
 ■場所 山口グランドホテル(小郡黄金町1・1)
 ■対象者 平成24年3月に高等学校・大学・短大・専修学校等を卒業予定の方、求職中の一般の方
 ■実施方法 参加企業の採用担当者との個別面談
 ■参加料 無料(申込不要) 高校生は、学校を通じて事前申し込みが必要。
 ※詳細は、山口県若者就職支援センターウェブサイト(☎ http://www.job.jp/)にも掲載
 ■山口県若者就職支援センター(☎ 083・976・1145)

「ふるさと山口企業合同就職フェア」
 ■日時 2月17日(金)
 ■時間 高校生:10時~12時/学生(高校生以外):一般:10時~12時30分(第一部)、13時30分~16時(第二部)
 ※第一部・第二部で企業を入れ替え
 ■場所 山口グランドホテル(小郡黄金町1・1)
 ■対象者 平成24年3月に高等学校・大学・短大・専修学校等を卒業予定の方、求職中の一般の方
 ■実施方法 参加企業の採用担当者との個別面談
 ■参加料 無料(申込不要) 高校生は、学校を通じて事前申し込みが必要。
 ※詳細は、山口県若者就職支援センターウェブサイト(☎ http://www.job.jp/)にも掲載
 ■山口県若者就職支援センター(☎ 083・976・1145)

やまぐち介護者(家族)の会事務局(☎ 083・922・7121)

「ふるさと山口企業合同就職フェア」

山口総合支所 ☎ 753・8650 亀山町2・1
 小郡総合支所 ☎ 754・8511 小郡下郷609・1
 秋穂総合支所 ☎ 754・1192 秋穂東6570
 阿知須総合支所 ☎ 754・1292 阿知須2743
 徳地総合支所 ☎ 747・0292 徳地堀1744
 阿東総合支所 ☎ 759・1512 阿東徳佐中3417・2

山口総合支所 ☎ 753・8650 亀山町2・1
 小郡総合支所 ☎ 754・8511 小郡下郷609・1
 秋穂総合支所 ☎ 754・1192 秋穂東6570
 阿知須総合支所 ☎ 754・1292 阿知須2743
 徳地総合支所 ☎ 747・0292 徳地堀1744
 阿東総合支所 ☎ 759・1512 阿東徳佐中3417・2
 ☎ 083・922・4111
 ☎ 083・973・2411
 ☎ 083・984・2121
 ☎ 083・65・4111
 ☎ 083・52・1112
 ☎ 083・956・0111

まちづくり審議会の委員を募集

山口・小郡・秋穂・阿知須・徳地・阿東地域の公募委員を募集します。
 まちづくり審議会では、まちづくりのあり方や計画について話し合い、出された意見を市の施策に反映します。
 あなたも地域づくりに参加してみませんか。

■応募資格 各地域に在住の満18歳以上(高校生を除く)の方
 ■募集人数 各地域とも若干名
 ■委員任期 2年間(平成26年3月31日まで)
 ■審議会 任期中に数回開催予定

■申し込み・問い合わせ 3月5日(月・必着)
 までに〒住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記の上、「地域のまちづくりについて」をテーマにした作文(800字以内、様式自由)を添えて、市協働推進課および、各総合支所総務課
 ・山口(市協働推進課 ☎ 083-934-2757)
 ・小郡(総務課 ☎ 083-973-2475)
 ・秋穂(総務課 ☎ 083-984-8021)
 ・阿知須(総務課 ☎ 0836-65-4112)
 ・徳地(総務課 ☎ 0835-52-1118)
 ・阿東(総務課 ☎ 083-956-0117)

「第2次山口市立図書館サービス計画（案）」への意見を募集します（パブリックコメント）

平成29年度までの図書館サービスの指針・目標の計画です。■**閲覧場所** 各総合支所市政情報コーナー、市ウェブサイト

■**提出・問い合わせ** 2月20日（月・必着）までに、住所、氏名、案への意見を記載の上、市中央図書館（☎083-901-1040）

ビジネスセミナー開催

創業間もない起業家、新たな事業展開等に悩む中小事業者、2代目の方などを主な対象に、経営に必要な専門知識を提供し、円滑な経営や事業拡大のヒントとなるセミナーを開催します。

今回のテーマは「問題解決トレーニングで売上高アップ」です。（無料）
■**日時** 2月19日（日）9時30分～17時30分

■**場所** サンフレッシュ山口（湯田温泉五丁目5・22）

■**定員** 30人（先着順）

■**申込** 2月13日（月）までに郵送、FAX、Eメールで、市商工振興課（山口総合支所 ☎083・934・2812 FAX 083・934・2650）
✉ shoko@city.yamaguchi.lg.jp

公社保有用地を売却します

市土地開発公社では、次の保有用地を公募により売却します。

金額や条件等、詳しくは、市ウェブサイト（表紙参照）に掲載しています。

■**受付期間** 2月23日（木）～29日（水）
■**売却対象用地**

・泉都町114番23ほか
……104・30㎡

・小郡上郷字仁保津52803番1ほか
……4416・23㎡
■**申込** 市土地開発公社（市企画経営課内 ☎083・934・2611）

小中学校補助教員と学校図書館指導員の募集

平成24年度採用の小中学校補助教員と学校図書館指導員を募集します。採用は、登録者の中から必要に応じて行います。

■**登録期間** 2月1日（水）～29日（水）

※登録書は同課、または山口を除く各総合支所総務課に備え付け（市ウェブサイト「表紙参照」からも入手可）
■**申込** 所定の登録書に自筆で必要事項を記入し、直接、市学校教育課（中央五丁目14・22 ☎083・934・2863）

小郡の子供たちによる山頭火の句毛筆展

山頭火は、小郡の其中庵で最も長い定住の時間を過ごしました。この山頭火の自由律句を小郡地域の小学生が毛筆で書いた作品を展示します。（無料）

■**日時** 2月4日（土）～12日（日）9時～17時 ※6日（月）休館

■**所** 市小郡文化資料館（小郡下郷609・3 ☎083・973・7071）

市教育委員会嘱託職員の募集

市教育委員会では、4月1日付け採用の嘱託職員を募集しています。募集している職種は、次のとおりです。

■募集職種一覧

募集職種	採用予定人数	採用条件 （いずれかに該当すること）
1 教育相談員	3人	・教育相談の実務経験者で、小学校または中学校教諭免許取得者
2 特別支援教育推進専門員	2人	・特別支援教育の実務経験者で、特別支援（養護）学校教諭免許取得者
3 適応指導教室相談員	3人	・教育相談の実務経験者で、小学校または中学校教諭免許取得者
4 情報教育専門員	1人	・システムアドミニストレータ有資格者またはSE経験者、もしくは、これらと同程度の知識・経験を有し、情報処理全般に精通している方
5 ことばの教室幼児部指導員	2人	・幼稚園または小学校教諭免許取得者 ・言語聴覚士

■**申込方法** 2月17日（金）までに市販の履歴書に必要事項を記入し、有資格者は免許状の写しを添えて、持参または、郵送で下記の担当課まで。

※面接日時については、応募者へ後日通知

■申し込み・問い合わせ

1～4…学校教育課（☎083-934-2863）

5…教育総務課（☎083-934-2947）

常設テーマ展示

「『在りし日の歌』まで」

行までの道のりを追いながら、「在りし日」という言葉に中が込めた思いを紹介しています。

■**期日** 2月15日（水）～平成25年2月18日（月）

※特別企画展開催時は除く
■**開館時間** 9時～17時（入館は30分前まで）

※5月～10月は18時閉館
■**休館日** 毎週月曜（祝日の場合は翌日）、各月の最終火曜、年末年始、その他臨時休館有

■**所** 中原本也記念館（湯田温泉一丁目11・21 ☎083・932・6430）

昭和12年9月、中也是第二詩集『在りし日の歌』の編集を終え、原稿を友人の小林秀雄に託し、故郷の山口に帰ろうとしたが、翌月、詩集の刊行を待たずに鎌倉で亡くなりました。半年後の昭和13年4月、遺された詩集の原稿をもとに、『在りし日の歌』は刊行されました。詩集には、「骨」「二つのメルヘン」「正午」「冬の長門峡」など58篇が収録されています。
今回の展示では、詩集の構想から刊

山口の地酒を学ぶ「第1回やまぐち地酒の楽校(がっこう)」参加者募集

■日時 2月25日(土) 18時30分～20時30分 ■講師 柏木 享氏 (やまぐち発酵文化研究所代表) ■受講料 5,000円 ■定員 48人 (先着順) ■場所・申し込み・問い合わせ 市菜香亭 (天花一丁目2-7 ☎083-934-3312)

菜香亭市民ギャラリー

「写心日和」撮りたいものがある・見せたいものがある」写真展

若手写真家団体「YawaColor」(やわから)による写真300点を展示します。(無料)

■日時 2月8日(水)～13日(月) 9時～17時

■所 市菜香亭(天花一丁目2-7 ☎083-934-3312)

山口市家庭婦人バレーボール大会参加者募集

■日時 2月19日(日) 8時20分から(8時15分から受付開始)

■場所 やまぐちリフレッシュパーク(大内長野1-07)

■競技規則・方法 本大会要項および全国家庭婦人バレーボール連盟の定める競技規則による、2ブロックに分かれてのトーナメント制(変更の場合有、相互審判制)

■対象 市内在住の家庭婦人で編成されたチーム24組(先着順)

■監督、副監督、マネージャーは男性も可能

■参加費 1チーム3000円

■当日、受付にて徴収

■申込 2月10日(金・必着)までに、所定の申込用紙に必要事項を

明記の上、郵送、FAXで山口市家庭婦人バレーボール連盟 椎木さん(〒753-0074 中央五丁目15-15 ☎FAX 083-923-2196)

阿知須「いぐらの館」イベント情報

【池坊清風会花展・ひなもん展示会】

池坊清風会の生け花展示会をひなもんまつりに合わせて行います。ひなもんと生け花・雛飾りの伝統的な日本文化の良さを味わってください。

■日時 2月8日(水)～12日(日) 10時～16時

※2月6日(月)、7日(火)を休館し、8日(水)、9日(木)を開館

■所 阿知須「いぐらの館」(阿知須3425 ☎0836-65-2403)

山口市建国記念の日奉祝大会

■期日 2月11日(土・祝)

■時間・内容・場所 10時から…行進(亀山公園ふれあい広場出発)

※小雨決行/11時から…祝賀式典、太鼓演奏、もち配り等(市民会館)

■所 山口市建国記念の日奉祝会 原田さん(☎083-927-0663)

市内の魅力を紹介します。

山口市

日本では珍しい!徳地の炭酸泉

徳地地域には、炭酸ガスなどの成分を大量に含む、全国的にも珍しい炭酸泉である柚木慈生温泉や、昨年6月にオープンした口ハス島地温泉があります。柚木慈生温泉近くの山里農産加工販売所や口ハス島地温泉では地元の特産品などを購入することもできます。ぜひお越しください。

■営業時間・定休日

柚木慈生温泉…10時～20時/毎月5・18日

口ハス島地温泉…10時～20時(受け付けは19時まで)/毎週水曜(祝祭日の場合は翌日)

■問い合わせ

柚木慈生温泉 (☎0835-58-0430)

口ハス島地温泉 (☎0835-54-4545)



近隣自治体と広報紙で情報を交換しています。

宇部市

磯村靖幸ピアノリサイタル ～ハンディキャップを乗り越えて～

全盲のピアニスト磯村靖幸さんは、一度聞いた曲を瞬時に記憶し、ピアノで再現することができます。「神様のくれた音」と称されるピアノ演奏を、ぜひお楽しみください。

母 孝子さんの語りによる、感動の家族物語にもご期待ください。

申し込みは不要でどなたでも参加できます。また、手話通訳もあります。みなさんのご来場をお待ちしています。

■日時 2月20日(月) 14時～15時30分

■場所 宇部市文化会館 (宇部市朝日町8-1)

■入場料 無料

■問い合わせ 宇部市人権教育課 (☎0836-34-8618)

防府市

2012 うめてらす梅まつり 2/12(日)～3/17(土)

■期間中の主な内容

【2/12(日) スタートイベント】

- ・9:00～ 梅茶の無料接待
- ・10:30～ 館内アトラクション (ハーモニカアンサンブルなど)

【2/26(日) 梅花祭によせて】

- ・12:30～15:00 音楽戦隊ウルセーと遊ぼう うめてらす前～防府天満宮境内一円で実施

【3/3(土) 集中イベントの日】

- ・9:00～ ひなあられ配布 (子どものみ、なくなり次第終了)
- ・9:00～ 梅茶の無料接待
- ・9:00～ うめてらすマーケット
- ・10:00～ 館内アトラクション (フラメンコ舞踊、ホルン演奏 など)

※天候等により内容変更する場合有り

■問い合わせ 防府市まちなちの駅 うめてらす (防府市松崎町1-20 ☎0835-28-0500)

「温泉からの夕日が絶景！海眺の宿 あいお荘」
このコーナーでは、気軽にに行ける市内の観光スポットやイベントなどを毎月レポートしていきます。

■問い合わせ 市広報広聴課 (☎0833-934-2753)



露天風呂「夕陽の湯」からの景色。天気の良い日は、国東半島や遠く由布岳（大分県）も望むことができます。もう一方の「朝陽の湯」とは男女が日替わり（奇数日は夕陽の湯が男性、朝陽の湯が女性。偶数日は逆）

今

回は、周防灘を望める高台にあり、海を眺めながら入浴できる露天風呂や、車えびをはじめとする新鮮な魚介類が人気の施設「あいお荘」をご紹介します。

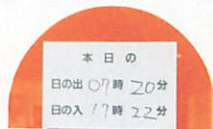
取材にお邪魔したのは1月中旬の平日夕方。ここあいお荘は、宿泊利用者だけでなく、立ち寄り湯としても気軽に利用でき、食事と温泉をセットで楽



「秋穂と言えば車えび。温泉とセットでぜひ」とフロントのお2人

しめる入浴セットも好評です。

この日はスタッフの方が「いい日ですねー」と言われるほど雲ひとつない晴天だったこともあり、夕日と温泉がお目当ての多くのお客さんで賑わっていました。週末には福岡や広島など、県外からのお客さんも多いそうです。



フロントには日の出、日の入時刻を表示

海眺の宿 あいお荘

- 場所 秋穂東 768-13 (新山口駅から車で約 20 分、バスで約 40 分)
- 施設 温泉、サウナ、レストラン、宿泊施設、売店など
- 問い合わせ あいお荘 (☎0120-84-2202)

温泉の概要

- 外来入浴営業時間 10 時～20 時
- 料金 中学生以上 500 円、3 歳～小学生 300 円

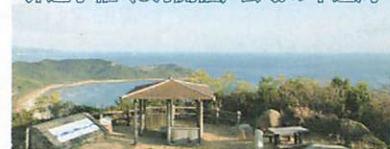
詳しくは「あいお荘」で検索



地図はこちら

潮風が心地よい露天風呂では、周防灘を赤く染め上げながら沈んでいく美しい夕日に感嘆の声が上がっていました。

あいお荘から徒歩約 10 分の串山遊歩道の展望台。眼下にはえび狩り世界選手権 (8 月開催) 会場の中道湾



秋穂地域には、このほかに観光情報や新鮮な魚介類が入手できる「道の駅あいお」や、散策しながら途中の展望台から水平線が見渡せる「串山遊歩道」など、日帰りで気軽に訪れることのできるスポットがたくさんあります。

次のお休みには、あいお荘を中心にちよつとお出掛けしてみませんか。

表紙写真から

本州最西端のスキー場

「十種ヶ峰スキー場」

表紙の写真は、1 月に十種ヶ峰スキー場でそり遊びを楽しんでいた 2 人の子たちが滑り降りたところを撮影したものです。

阿東嘉年地区にある十種ヶ峰(標高 989.2m)のスキー場は、本州最西端のスキー場です。ペアリフトが整備された初・中級向けの全長約 600m の第 1 グレンデヤ林間コース、そりコースがあります。また、スノーモービルで 9 合目の第 2 グレンデまで登れば、全長 1800m の中・上級向けのコースもあり、雪遊びから本格的なスキー・スノーボードまで、誰もが冬の自然を楽しむことができます。



ご家族で大自然を満喫できます

積雪状況により営業しない場合もありますので、そり遊びは可能、リフトの稼働、ロッジの営業等については、事前にお問い合わせください。

■問い合わせ 十種ヶ峰スキー場

(☎0833-958-0547)

※グレンデ情報は、「十種ヶ峰スキー場」で検索

「ふるさとの味」各地域の郷土料理を紹介します

一升枰すし (阿知須)

地区のみなさんの助け合いの心
から生まれたおもてなし料理



ご家庭で作っていただくため、4人分(実際の分量の約1/5)を紹介します。



材料・分量(4人分程度)

- A
米……………300g (2合)
水……………360cc
昆布 (2cm×4cm) ……1枚
酒 (またはみりん) ……10cc
- B 合わせ酢
酢……………60cc
塩……………小さじ1.8
砂糖……………30g
酒……………小さじ0.9
- C 塩でしめ、酢につける魚
えそ・鯛等の白身魚……………20g
(三枚におろし処理したもの)
※サバ、アジ、イワシ等でも可
- D すし飯の上にのせる具
三つ葉、青じそ、さやいんげん
山椒の葉など季節のもの、えそそばろ
甘酢につけたショウガ、錦糸玉子

◆使用する道具…すし桶 (あらかじめ水をかけ湿らせておく) / すし枰 (分量に応じてお好みの枰をご使用ください)

【参考】※写真は、米一升(10合)で作る場合のすし枰(内サイズ縦15cm×横15cm×高さ6cmで2枰分)で作った、1枰分です。

作り方 [調理時間 約 40 分 (炊飯時間を除く、Dの具材をのせた場合)]

- ① 米はよく洗い、ざるに上げて水気を切る。炊飯器にAを入れ、30分くらい置いて炊く。
- ② 鍋にBの酢・塩・砂糖を入れ火にかけ煮立たせる。酒を入れ火からおろす。(市販のすし酢でも可)
- ③ 米が炊き上がったたら、すし桶に移し、ご飯をよくほぐしながら合わせ酢(40cc)を入れ、うちわ等であおぎながら手早く混ぜる。(白身魚の酢じめの酢を使うとさらに美味しくなる。その場合は、最初に入れる合わせ酢の分量を少なめにする。)
- ④ すし枰の内側に合わせ酢(20cc)を刷毛等で湿らせ酢飯を入れ、その上に具をのせ、しっかり押さえて型を抜く。
- ⑤ ④を皿に移し、小分けに切るなどして盛り付けて完成。

お話を伺いました



阿知須生活改善実行グループ
会長 江本紀代子さん

身魚を加えるのは、私たちのアレンジで、とても美味しくなりますよ。阿知須に「一升枰すし」があることを知ってもらえると嬉しいです。

伝統食を見直す取り組みの中で、引野地区のメンバーが一升枰すしをみなさんに振る舞い、大変喜んでもらえました。このお寿司は地区の宝なのだと感じました。これまでの歴史の重さを知った上で長く残していくため、若い方にも伝えていきたいと考えています。

家族が少なくなった現在では、本来の姿を伝えながら、各家庭で子どもたちが喜ぶ形や具材で作ってもらうのもいいですね。酢飯に白

地域のお祭りから生まれました

引野地区で100年以上の歴史を有している一升枰すしは、百々手祭りと呼ばれる地区の総会で出されていた料理です。このお祭りでは、各戸が持ち回りで料理を作っていましたが、食材の調達や献立、調理にかかる労力が悩みの種で、お互いを思いやる話し合いの中から誕生しました。当時の1戸の家で食べる量や、使う食器が少なく済むことなどから一升という大きさになったようです。特別な時の料理として、調理する機会も減っていましたが、平成15年に生活改善実行グループが復活させています。



■問い合わせ 市農業振興課 (☎ 083-934-2815)

イベントカレンダー 2.3月



※開催場所・時間など、詳細はお問い合わせください。

開催日 (曜日)	イベント名 (開催地域) 問い合わせ先 (電話番号)	やわから yawaColor 写真展 (~ 13日) (大殿) 市菜香亭 (☎ 083-934-3312)	2012 山口・名田島 田園マラソン大会 (名田島) 実行委員会 (☎ 083-972-6720)
	企画展 LabACT vol.2「Eye Tracking Informatics ~視 線のモルフォロジー」 (~ 3月25日) (白石) 山口情報芸術センター (☎ 083-901-2222)	2012 年阿知須ひなもんま つり&街角ぎゃらりー (~ 12日) (阿知須) 県央商工会阿知須支所 (☎ 0836-65-2129)	19 (日) 
	企画展「中也の母・フク」 (~ 4月15日) (湯田) 中原中也記念館 (☎ 083-932-6430)	8 (水) 	市公共交通ふれあいフェスタ (白石) 市交通政策課 (☎ 083-934-2729)
4 (土)	小郡の子供たちによる山頭火 の句毛筆展(~ 12日)(小郡) 市小郡文化資料館 (☎ 083-973-7071)	池坊清風会花展・ひなもん展 示会(~ 12日) (阿知須) 阿知須いぐらの館 (☎ 0836-65-2403)	26 (日) 
	meet the artist2011 「ライブラリラジオをつく ろう」活動報告会 (白石) 山口情報芸術センター (☎ 083-901-2222)	11 (土・祝)	3/2 (金) 市内一斉ノーマイカーデー (全域) 市交通政策課 (☎ 083-934-2729)
5 (日)	あじすふれあいフェスティバル (阿知須) 阿知須地域交流センター (☎ 0836-65-2022)	15 (水)	3/3 (土) 第6回もっバラおこおり (小郡) 実行委員会 (☎ 083-976-8588)
6 (月)	「市長と話そう!」~大内文 化を生かしたまちづくり~ (移動市長室) (大殿) 市広報広聴課 (☎ 083-934-2884)		

市長コラム

あしたへトライ



1月8日に開催しました成人式では、市内各地域から1447人の新成人のみなさんに出席していただきました。

当日は、さわやかな青空のもと、新成人のみなさんのりりしいスーツ姿や、かわいらしい晴れ着姿で、会場全体が華やかで幸せな空気につつまれ、見ている私も自然と笑顔になりました。また、私が成人を迎えたころをなつかしく思い出しました。

昨年の東日本大震災は、人と人とのつながり、「絆」の大切さを教えてくれましたが、成人式も家族や友人との絆を再確認する場になったのではないかと思います。



絆を胸に誠意をもって

私が尊敬する吉田松陰先生が好んで使われた言葉(これは孟子の言葉ですが)に『至誠にして動かざるものは、未だこれ有らざるなり』とあります。これは「誠意をもって物事にむかえば、動かすことができなないものはない」という意味です。成人を迎えられたみなさんは、これからみなさんが人生を歩んでいく上で、絆を胸に、何事にも誠意をもって取り組んでいただきたいと思えます。そして、若き力で郷土やまぐちを大いに盛り上げていただくことを期待しています。

山口市長

渡辺純心

この広報紙は再生紙を使用しています。
使い終わったら、「新聞紙」として
古紙類の分別収集に出しましょう。

市報やまぐち 2月1日号

発行 山口市 〒753-8650 山口市亀山町2-1

編集 総合政策部広報広聴課 ☎ 083-934-2753 / 印刷 株式会社マルニ